

★就労支援部会「虐待防止及び身体拘束等の適正化に向けた研修」グループワークシート
「利用者と支援者を守るための準備はできていますか？」

① 今後、利用者さんへの支援は何ができるのでしょうか

- ・利用者が調子を落としたため発言内容が強くなったのか？日頃の情報共有は出来ていたか？支援者同士の情報共有の時間を作る必要がある。
- ・「きつくないですか？」→本人の友人関係のことで聞かれたと勘違いした？
 - 本人の気持ちとして話しかけて欲しくない方だったのでは？
 - 既に何らかのストレス強度が増していた状態であることも考えられる？
- ・医療、計画相談、訪問看護へ報告連携を事業所から先回りして行っておく必要があった？
- ・他の支援者へ対応可能な場合は時間を置くためにもしばらく他スタッフにする必要もある。
- ・職員 B さんの声掛けの仕方（タイミング）や二人の関係を検証する。

② 職員及び事業所の体制作りで、できることは何かあるでしょうか

- ・朝夕の職員間の情報共有の場を設ける。その際は外部の人間も交えることも必要。
- ・職員から利用者への声掛けの内容が良くない、適正な声掛けとはいえなかった。
主語がない→相手にとっては何のことですか？となり、本人を否定することにつながりかねない。もっと具体的な声掛けが良かったのではないか？それを支援計画に反映させることも必要である。
- ・暴言を吐かれたスタッフのフォローも必要。トラブルとなった場合、他スタッフが対応できる体制づくり。利用者から状況を聞くだけでなく、複数のスタッフから状況を聞くこと。
- ・可能であれば配置換えを行う。
- ・職員を守るという支援システムを作る。（マニュアル化していく。）
- ・管理者とサビ管は別の方が良い。管理者次第で事業所の支援が決まると言えるため。